

東部健康福祉センター だより

<第3号(平成20年3月14日(金)発行)>

静岡県東部健康福祉センター(東部保健所)発行

〒410-8543 沼津市高島本町1番3号

(電話) 055-920-2075 (FAX) 055-920-2191

(ホームページアドレス)

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-730/index.htm>

<今回の情報>

*食品安全教室の開催 *はしかの予防接種について *AEDをご存知ですか? +<編集後記>

食品安全教室の開催～食品のことを正しく知ろう～

昨今、食を取り巻く状況は、賞味期限の改ざん・偽装表示問題、輸入食品からの残留農薬の検出等の事件・事故が相次いで発生し、県民の食品の安全性への不安・不信が高まっています。

静岡県では、食の安全・安心を推進するための「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」に基づき各種施策に取り組んでおり、中でも、県民に対する食品衛生知識の普及啓発事業は重要な柱であり、積極的に実施しています。

本事業の一環として、子どもの頃から食について考える習慣を身につけ、安全な食品を選択するための知識を養うための食育活動を推進することが重要であることから、小中学生を対象とした「食品安全教室」を開催しています。



薬品を利用して手洗いを実践する児童たち＝伊豆市立大見小学校で

東部保健所修善寺支所 開いた。一年生児童四十二人は、伊豆市大見小学校で、食中毒の原長で、食中毒を、因や防止方法について学んだ。

東部保健所
修善寺支所が大見小で教室
手洗いで食中毒防止

同支所担当者が講師を務め、食品の表示や食中毒の種類、食中毒の症状などを説明し、食中毒にならないためにはしっかりと手洗いが大事と呼び掛けた。実践として、薬品を利用した手洗いにも挑戦し、全員が手洗い後の汚れの取れ方を確認した。

※本年度は、修善寺支所管内の伊豆市立大見小学校の1年生を対象に、食中毒防止のための「手洗いの大切さ」を知ってもらうことを中心とした「食品安全教室」を開催しました。

これからも、食育活動を積極的に対応していきたいと考えておりますので、県民の皆様のご協力をお願いいたします。



(平成20年1月23日 伊豆日日新聞掲載)

はしか(麻しん)の予防接種について

はしかは、毎年春から初夏にかけて流行がみられる麻しんウイルスによる感染症です。

昨年、10代、20代の若い方々の間で大流行しました。

日本は、平成24年度までにはしかを排除することを目標にしています。

はしか(麻しん)とは?

- ・麻しんウイルスは咳やくしゃみの飛沫、鼻水等の中に存在し、それらへの接触や、空気を介して感染します。
- ・感染してから約10日後に発熱、咳、鼻水、目やに等が現れます。その後、発疹が耳の後ろ付近から全身へ広がります。症状が出る2日前頃に口内に白い小さい斑点が出ます。(明瞭でないこともあります。)

最も有効な予防は…**予防接種**です。

1歳のお誕生日プレゼントにワクチンを！ 小学校入学準備に2回目のワクチンを！

- ・麻しんワクチンは2回接種しましょう。2回の接種で免疫を強固にします。
- ・平成20年4月から、中学1年、高校3年に相当する方への予防接種が時限的に導入されます。
- ・予防接種歴は母子手帳で確認できます。

※はしか(麻しん)、予防接種に関するご相談は、お住まいの市町(保健センターなど)へお問合せください。

“AED”をご存知ですか？

(～「もしも」の事態に備えて、東部総合庁舎4階にも用意されています。)

先日、出張したおりに、JR 静岡駅のホームに配置されている“AED”を目にしました。

この“AED”は「自動体外式除細動器」といい、心筋梗塞、不整脈などの心疾患による「心室細動」(＝心臓が血液ポンプとしての機能を失った状態)を電気ショックにより除去(＝除細動)して心臓を正常な状態に戻す装置です。

お住まいの市町の小中学校や体育館など公共施設でも、この“AED”を設置している場所が増えてきました。

東部総合庁舎では、沼津市消防本部の協力のもと、“AED”を使った救命救急講習が開催され、当センターにもこの講習を受講した職員がおります。

家庭や職場で家族や友人が倒れたとき、「突然の事態」に見舞われた方を、このAEDを使って救命することができれば、なによりです。

皆さんに“AED”の存在を認識していただき、地域でこの機器を使った救急救命講習がご案内された場合は、ぜひとも積極的な参加、取組みをお願いします。

※下の写真は、東部総合庁舎4階(東部健康福祉センター総務課)に配備されているAEDです。



(ケースに入って保管されています。)



(↑ケース内の機器)

＜ 編集後記 ＞

…「1,2,3 歩、…御意見募集」

数年前に上の記事でお話した「救命救急講習」を受講したおり、「傷病者の呼吸の状態は、『見て(1)、聞いて(2)、感じて(3)、4、5、6、…』と声を出して10秒程で確認するよう説明されました。

東部地域はじめ県民の皆さんへ当センターの業務を紹介し、健康・福祉に関する情報を提供するため、拙い(つたない)文章で書き始めたこの「センターだより」は、今号が第3号となります。(ホップ、ステップ、ジャンプ未満の第3歩ですが…。)

地域の健康福祉担当窓口に皆さんが期待するニーズを把握し、今後の広報作業を充実させるためにも、「こんな情報はあるかな?」、「この件で困っているが相談できる窓口はどこか?」等のご意見を是非お寄せください。併せて、この広報誌のタイトル(愛称)も募集しております。

(おもて面・タイトル横の編集担当窓口までお電話、メール等でお知らせください。)

(※最後まで御覧いただき、ありがとうございました。)

いのち輝き、笑顔あふれる社会を

静岡県厚生部

